

◎ 谷学谦 · 刘本固 · 崔义香

新编日语

二

修订本

吉林教育出版社



H3
15

◎ 谷学谦 · 刘本固 · 崔义香

修订本

新编日语

㊦

吉林教育出版社

(吉)新登字 02 号

新编日语(二)·修订本

谷学谦 刘本固 崔义香

责任编辑:张岩峰

封面设计:曲 刚

出版:吉林教育出版社 850×1168毫米 32开本 22.75印张 2插页 830.000字

发行:吉林教育出版社

• 1997年5月第2版 1997年5月第7次印刷

印数:76727—86726册

定价:25.00元

印刷:长春市东方印刷厂

ISBN 7-5383-0332-4/G·313

修订本前言

本书原为三册，即日语Ⅰ、Ⅰ、Ⅱ，是供在东京外国语大学附属日语学校初学日语的外国留学生使用的。利用这套教材进行教学，可以使学生获得在日本大学用日语进行各种学习活动的 ability。

我国赴日留学生预备学校也采用这套教材，通过多年教学实践进一步证明，使用这套教材的效果是好的。我国学生学习本教材半年，基本上能听懂日本教师讲授的数理化等课程；学习十一个月，入日本大学就能听懂日本教师讲课。目前，这套教材在很多国家的赴日留学生和我国的日语爱好者中颇受欢迎。

中日两国的友好和文化、科技交流源远流长，近年更是日趋频繁。许多出国人员、科技工作者和日语爱好者都希望有一套适用的教材，通过短期的学习，收到事半功倍的效果。为了满足广大日语读者的需要，我们将这本教材作了某些改编，即增加了部分内容。本教材对于日语自修者是较好的学习材料，同时也可作为大专院校日语专业学生的基础教材和日语教师的参考书。

对《日语Ⅱ》的改编，特作如下几点说明：

第一、为了方便学习，单词不按词类排列，而按课文出现的先后顺序排列，并标有音调记号、词类和词义。常用汉字对我国成年读者来说，重点是读法，因此放在每课书的词汇表里，不再另立专栏。

第二、《日语Ⅱ》里出现的句型和语法现象较多，但原书未作系统归纳与说明。根据成年人学习日语的特点，增加了语法项目。这部分包括基本句型和语法说明。基本句型单列条目，结合每课书进行必要的讲解，并附有一定数量的例句。语法条目不作系统讲授，而以语法说明的形式出现，其内容依照课文和练习的需要而定。

第三、对原书课文内容未加改动，但每篇课文均附有参考译文，行文尽量直译，以利自学。本册难点较第一册多些，对难于理解的语言现象，适当加以注释。

第四、练习形式个别有所改动，《言葉の使いかた》生词较多，份量较大，且又是重点，故附上参考译文。每课练习大多数附有参考答案，以便为学习者自测自批提供方便条件。但对模仿性的练习，一般不作参考答案。

第五、原书每课分三部分：课文、练习、单词。改编后的结构是：课文、词汇、注释、语法（基本句型及语法说明）、练习、课文参考译文、练习答案。参考译文和练习答案可根据自己的实际，灵活掌握，以求实效。书后附有汉字索引和总词汇表，便于查阅。

本书自1985年初版问世以来，一版再版，深受广大读者喜爱。但书中尚有一些不足之处。本次修订再版，主要侧重于两个方面：其一，对前一版存在的一些技术上的疏漏进行了必要的修正；其二，将前一版的上下两册合为一册装帧，并对其版式和体例进行了重新设计，重点突出，中心明确，使之更方便广大学习者使用和掌握。

编者

1997年1月

原书前言

1. 《日本語Ⅱ》是以在东京外国语大学附属日本語学校初学日语的留学生为对象而编写的教材之一。

2. 本书是继本校编的《日语发音》、《日语——平假名和片假名》、《日本語Ⅰ》之后编写的。目的在于让学生掌握日语的基础结构。

3. 本书预定在本校一学年学习计划的第二学期里用大约三十五学时学完。学完本书后在第三学期接着学习《日本語Ⅲ》。通过这一学习使学生在进日本的大学之后，具有能用日语进行各种学习活动的 ability。

4. 本书由二十二课组成。选择的题材涉及范围广泛，有日常生活方面的、文学方面的、文化方面的、社会方面的、科学方面的等等，为培养能熟练地使用语言的能力提供了许多必要的语言环境材料。

5. 每课分别由课文和练习组成。在课文里，用各种形式把句型和语法项目提出来，以求学生在上下文中能够正确理解。在练习方面，分别举出课文中提出的句型和语法项目，按照模仿、记忆、应用的顺序，安排了“词语的用法”、“填空白”、“填方框”、“替换”、“变换说法”、“问答”等项目的各种练习。

6. 本书在课文和练习中的“词语的用法”中提出的新词汇约有3700个。

每课提出的新出词汇，作为“生词”分别归纳在每课的最后；全书提出的新出词汇，作为“语汇索引”归纳在本书最后。

7. 汉字部分，新出现的汉字920个，不同读法的汉字480个，是分别从常用汉字表中选出的。每课中提出的新出汉字和不同读法汉字，分别在每课的最后归纳为“新学汉字”；全书中提出的新出汉字在本书最后归纳为“新出汉字表。”

栏外标出的汉字，是新出和不同读法的汉字，新出汉字原样写

出，不同读法汉字在字下划线表明之。

每课最后的“新学汉字”，也把新出汉字照原样写出；读法不同的汉字则在字下划线，如是已出汉字则划点线圈以示区别。

8. 关于假名用法方面，已根据现代假名用法予以统一。关于汉字部分，以常用汉字表、常用汉字改订音训表为基础，但属于音训表“附表”中的汉字都注了假名。

昭和54年5月20日

东京外国语大学附属日本語学校

教材试编研究协会

目 录

1. 朝の散歩	(1)
2. 果物	(13)
3. 夏休みの便り	(36)
4. 火の発明	(50)
5. 五色のしか	(68)
6. 銀貨や銅貨はなぜ丸いか	(93)
7. 天気と我々の生活	(111)
8. ほくのゆめわたしのゆめ	(133)
9. 東京	(156)
10. 野ばら	(178)
11. 漢字の知識	(208)
12. 病気の予防	(240)
13. ツルの恩返し	(262)
14. 抗議する義務	(295)
15. 敬語とその使い方	(313)
16. 手紙のいろいろ	(347)
17. 山の湖 —紀行文—	(384)
18. キュリー夫人	(409)
19. くもの糸	(453)
20. 季節風と日本人	(481)
21. ことわざ	(503)
22. 生物のいる星とない星	(528)
附录:	
1. 漢字索引	(562)
2. 語彙総表	(626)

1 朝の散歩

目が さめると すぐ 飛び起きて、庭に 出ました。

空は 青く 晴れて いて、雲 一つ ありません。朝日が 庭 いっぱいに さして います。ゆうべの 雨に ぬれた 木の 葉が、きらきら 光って います。ほんとうに 気持ちの いい 朝です。

わたしは むね いっぱい 朝の きれいな 空気を すい ながら、やわらかい 土を ふんで 庭を 歩きました。

向こうに 見える 森も、林も、家も 朝日を 受けて、か がやいて います。どこからか ラジオたいそうの 音楽が 聞こえて きます。

小鳥も うれしそうに、鳴きながら、えだから えだに 飛び移って います。池には 水が いっぱい になって いて、金 魚も 気持ち よさそうに 泳いで います。

わたしは しばらく 庭を 散歩してから、へやに もどっ て、朝ご飯まで 新聞を 読みました。

詞 汇

さめる② (自下一) 醒; 覚悟

とびおきる④ [飛び起きる] (自下 一) 迅速地起来, 猛地起床

あさひ①② [朝日] (名) 朝阳

さす① (自五) (光线) 照射

は① [葉] (名) 叶子

きらきら① (副) 闪烁; 晃眼

むね② (名) 胸; 心脏; 内心

くうき① [空気] (名) 空气

つち② [土] (名) 土

うける② [受ける] (他下一) 受, 接受

かがやく③ (自五) 放光辉, 闪耀

ことり① [小鳥] (名) 小鸟

とびうつる④① [飛び移る] (自五) 飞迁

きんぎょ①〔金魚〕(名) 金魚
 かげる②(自五)(日、月等)被遮住
 さしこむ①(自五)(光线)射入
 カーテン①(名) 窗帘
 けんこう①〔健康〕(名、形动) 健康
 ふく①(他五) 擦
 あつまる〔集まる〕(自五) 集, 聚;
 汇合
 はら②(名) 腹; 肚子
 ストロー②③(名) 麦管
 ソーダすい③〔ソーダ水〕(名) 汽水,
 苏打水
 スープ①(名) 汤
 あつい②〔熱い〕(形) 热的
 すえる①(自下一) 能吸; 能喝; 能

抽(烟), “吸う”的可能动词
 か①(名) 蚊子
 いま①〔息〕(名) 气息; 呼吸
 はく①(他五) 吐出
 すいこむ③〔吸い込む〕(他五) 吸入
 ひろげる①〔広げる〕(他下一) 扩展,
 伸展
 けむり①(名) 烟
 たいおんけい③〔体温計〕(名) 体温
 計
 もと①(名) 以前, 原来
 みなさん②(名) 各位, 大家
 おとす②〔落とす〕(他五) 丢掉, 遗
 失; 失掉
 すすむ⑤(自五) 前进; 进步; 进展

语 法

一、基本句型:

1. ～と(すぐ)～

由动词终止形加接续助词と(すぐ)构成。

①目がさめるとすぐ飛び起きました。(醒来后, 立刻一跃而起了。)

②わたしは朝起きるとすぐ顔をあらいます。(我早晨起床后, 马上洗脸。)

①②例句表示两个动作先后相继而起。第一个动作“～と”结束后, 立即有第二个动作相接。两个动作之间, 几乎没有空隙。有“すぐ”就更突出了“马上, 立刻”紧接的意思。这前后两个动作, 可以是同一个主体的, 也可以是两个主体的。

③この道を行くと、駅の前に出る。(沿着这条路走, 就会走到站前。)

④雨にぬれると、かぜを引きますよ。（若是被雨淋湿了，会感冒啊！）

③④二句是本课练习中的例句，是表示因果关系的条件结果句。“～と”部分表示原因条件，“と”后表示结果，一有前边所举的原因条件，就自动地、必然地会出现后边所表示的结果。

2. ～一つありません

由名词接“一つ（助数词）”接否定式“ない”而成。

①空は青く晴れていて、雲一つありません。（碧空晴朗，万里无云。）

②わたしは元気で、かぜ一つ引きません。（我很健康，连一次感冒都不得。）

③あいさつ一つできない。（连一句问候的话都不会说。）

④あたりは静かで、一人もいない。（附近很肃静，一个人也没有。）

这是通过否定一个最低条件而表示全部否定的句型。如③例句，“あいさつ一つ”（一句问候）表示最低条件。后面用“できない”加以全面否定。

往往这种句子，在全部否定前面有肯定的部分。通过全部否定后边所提的消极的条件，反过来全面肯定前面的状态。如②例句，后面全面否定“感冒”以全面肯定前面所叙述的“健康”。感冒虽然是“かぜを引く”，但在这时不需要格助词“を”。

二、语法说明：

1. ～いっぱい（に）

朝日が庭いっぱいにさしています。（朝阳洒满庭院。）

はらいっぱいご飯を食べた。（我饱餐了一顿；我吃得
很饱。）

紙いっぱいに字を書いた。（在纸上写满了字。）

“名词+いっぱい（に）”表示“满～上”的意思。前面的名词表示面积或容积，加上后面的“いっぱい”就成为充满这面积或容积的意思。“いっぱい”表示满的极限，再也容纳不下的程度。

“庭いっばいに”是“满院”“满园”。“ほらいっばい”是“满肚子”。“紙いっばい”是“满纸上”。

“いっばい”还另有不同的用法。

駅の前は人でいっばいだ。(站前人很多。)

这时的“駅の前”也有事物存在或放置某种事物的面积的意思。“人で”中的“で”表示材料，“用人”这材料。“いっばい”表示充满的状态。组织在一起就构成了“站前挤满了人”的意思。“いっばいだ”是形容词。

还有一种“いっばいになる”的用法。

“いっばいに”是形容词连用形。

川の水がいっばいになってあふれた。(河水上漲出槽了。)

“いっばいになる”表示变成为(になる)满满的状态。

2. 表示原因的格助词“に”

ゆうべの雨にぬれた木の葉が、きらきら光っています。

(被昨晚的雨淋湿了的树叶在闪闪发光。)

山が朝日にかがやいます。(山峦映着朝晖。)

这格助词“に”表示原因。“雨に”是“由于下雨”。“朝日に”是“因朝阳”。

3. 向こうに見える

向こうに見える森も林も家も朝日を受けて、かがやいています。(对面的森林、小树林和房屋都在朝阳照耀下闪着光辉。)

“向こう”(对面)表示方向的名词,“に”表示存在的地点、方向。“向こうに見える”是“看得见在对面(存在)的”的意思。就是说那森林等在对面,可以看得见。“向こうに”是森林等存在的地点,而不是看的地点。一般容易误解为“在对面看得见的”,应当注意。

4. どこからか

“どこ”表示不定的地点,同时还可以用于表示疑问“何处、何方”。加上“から”,就是“从何处,从何方”。“か”(副助词)表

示不定，加上“どこから”后，就表示了“不知从哪儿来的”“不知来自何方”的意思。

“どこからか”和“どこかから”不同。

这二者在翻译时很难区别，但仍然有微小的差别。这要看“か”（不定）的直接影响所及。“どこからか”中的“か”限制“どこから”，表示来自何方（何处）的不明，强调了来处。“どこかから”中的“か”只限制“どこ”，表示何处的不定、不明、不确切知道。强调的是地点的不明。然后才谈到“から（来自）”这不动的地点。

5. 现在时和完了时

完了时，是用完了助动词“た”，表示人和动物等的动作的完了，动作的完成、结束。如本课课文中的：

庭に出ました。……庭を歩きました。

……新聞を読みました。

现在时，在这课里主要是表现为“～ている”形式的，用以表示人和动物的现在正在进行的动作。如本课课文中的：

飛び移っています。……泳いでいます。

此外有另一种“～ている”，如：

朝日が……さしています。

木の葉がきらきら光っています。

……かがやいています。

这些句子虽然可以说是表示了现在时，但它们主要是表示自然现象、事物的作用、状态、是表示事物的作用、状态的补助动词用法。

音楽が聞こえてきます。

也是现在时，但它用的是“～てくる”（补助动词）表示事物作用由远而近的动向。

总之，在这一课记叙文中使用了“～た”完了时和“～ている”现在时两种体。作者用“～た”表示了自己的动作的完了，自己做了什么。用“～ている”形式描绘了鱼鸟的现在动作和自然景象。这里所以用“～ている”现在时来描写他已看到的事物景色，

而不用“～た”，是因为用现在时能给人一种现实感，如身临其境的感觉，可以提高表达效果。

6. 复合动词“飛び移る”“飛び起きる”

这种动词是由“飛ぶ”和“移る”，“飛ぶ”和“起きる”分别合成一个动词的。叫复合动词或合成动词。

合成时，前一个动词要用连用形接后一动词，复合动词的活用只按照后一动词变化，前一动词部分保持连用形不变。

本课只有动词接动词而合成的例子。此外也有其他品词和动词合成复合动词的，这里暂不提。但有一条，就是不管接什么词，动词都必须在后才能成为复合动词。就是说它的词性决定于所接的最后一词的词性（是什么品词）。

7. “気持のいい”和“気持よさそうに”

ほんとうに気持のいい朝です。

金魚も気持よさそうに泳いでいます。

“気持のいい”是由“気持がいい”变来的。由“気持が”（主语）和“いい”（谓词），即由主谓关系构成的。它构成连体修饰语修饰后面的“朝”。

“気持よさそうに”是复合形容词“気持よい”接样态助动词“そうだ”的连用形“そうに”而构成的。“よい”这个形容词接“そうだ”时，中间要特殊加“さ”音，就是“よい”的词干“よ”接“さ”，再接“そうだ”，即“よさそうだ”。“気持よい”接“そうだ”时，因为带“よい”部分，所以也要同样加“さ”，变成“気持よさそうだ”。

気持よ（词干）+さ+そうに

8. 接续助词“て”

接续助词“て”用以连接两个以上的同等或并列的内容。用这种用法可以连接同等水平的几个句子，可以拉长句子，使句子带有连续性。

本课课文所用的“て”的用法有下列几种。

(1) 表示动作的先后关系

目がさめるとすぐ飛び起きて、庭に出ました。（醒來

之后，立即一跃而起，来到院子里。）

へやにもどって、朝ご飯まで新聞を読みました。（回到屋里，读报到吃早饭。）

“て”表示动作的先后连接关系，“て”之前是先起床，“て”之后表示后来院子。

(2) 表示方式、手段、状态、条件

やわらかい土をふんで庭を歩きました。（踏着松软的
土地，在院里漫步。）

“踏着松软的土地”是表示“漫步”的方式、状态。

(3) 表示并列、列举

空は青く晴れていて、雲一つありません。（碧空晴朗，
万里无云。）

“て”前后并列，描述了天空状态的两个方面。

(4) 表示单纯的连接

池には水がいっぱいになっていて、金魚も気持よさそう
に泳いでいます。（池塘存满了水，金鱼也似乎舒畅地在游
动。）

“て”前的内容表示池水的状态。“て”后表示金鱼的动作状态。
二者只是一般的连接。

(5) 表示原因、理由

森も家も朝日を受けて、かがやいています。（森林和
房屋在朝阳照耀下，闪着光辉。）

“て”前部分是“かがやく”的原因。

(6) 除此之外，有补助动词“ている”的用法。

朝日がさしています。

金魚が気持よさそうに泳いでいます。

“て”前是本动词，“て”后的动词是补助动词，构成补助关系，
本动词表示主要意义，补助动词只起补助作用，表示时态等。

9. 接续助词“て”和接续助词“ながら”的比较

“て”和“ながら”都同样可以表示两个动作的同时或先后进
行，但有不同的用处。

わたしはきれいな空気を吸いながら、庭を歩きました。
(我边吸着新鲜空气，在院子里踱步。)

小鳥はうれしそうに鳴きながら、えだからえだに飛び移っています。(小鸟似乎高兴地边鸣叫着，边从一个树枝到另一树枝跳来跳去。)

“ながら”所连接的两个动作必须是两个有意志的动作。第一例句的两个动作是人的，第二句是小鸟的，都属于有意志动词，是以人或动物的意愿而动的。用“ながら”能表达一个主体的两个动作，连接紧密，生动自然。

如用“て”表示第一句，“ながら”改为“て”。

わたしはきれいな空気を吸って、庭を歩きました。

二者相接不紧，表达不生动，不自然。

反过来表示无意志的自然现象、作用、状态等的动词，就不能接“ながら”表示同时进行。

如：“空は晴れていて、雲一つありません。”不能改为：“空は晴れていながら、雲一つありません。”意思不通。

练 习

1. 言葉の 使いかた (词语的用法)

(1) さす

- ①月の 光が 青く さして いて、とても きれいです。
- ②そこは 日が さして 暑いですから、どうぞ こちらに おいで ください。
- ③さっきまで 日が さして いたが、雲が 出て かげって しまいました。
- ④日が さしこみますから、カーテンを 閉めて くださいませんか。
- ⑤日の さしこまない へやは、健康に よく ありません。

(2) ぬれる

- ①着物が 水に ぬれました。
- ②雨に ぬれると、かぜを 引きますよ。
- ③手が ぬれて いるので、てぬぐいで ふきました。

④かさを 持って いなかったので、すっかり ぬれて しまいました。

⑤雨に ふられて、すっかり ぬれて しまいました。

(3) いっぱい

①駅の 前は 人で いっぱいだ。

②人が いっぱい 駅の 前に 集まって いる。

③どの バスも いっぱいで、乗れない。

④川の 水が いっぱいになって あふれた。

⑤はら いっぱい ご飯を 食べた。

⑥庭 いっぱいに 花を うえた。

(4) すう

①ストローで ソーダ水を すいました。

②この スープは 熱くて すえません。

③かは 人間の 血を すいます。

④息を 鼻から、すって、口から はきます。

⑤空気を すったり、はいたり します。

⑥むねを 広げて、空気を むね いっぱい すいこみ なさい。

⑦たばこの けむりは すいこまない ほうが いいですよ。

⑧ここで たばこを すっては いけません

(5) もどる

①この 体温計は ふると、もとに もどります。

②来すぎましたから、いま 来た 道も もどって ください。

③みなさん、席に もどって ください。

④落とした お金は ほとんど もどって きません。

⑤すすむだけでなく、まえに もどって ふくしゅうも しなさい。

2. まるうめ (填空白)

(1)目○ さめる。

(2)庭○ 出る。

(3)こ○ 道を行くと、駅の 前○ 出る。

(4)家○ 出る。

(5)三年まえに 国○ 出ました。

(6)日○ 出る。

(7)ころんで、手から 血○ 出ました。

(8)木の 葉○ 雨○ ぬれる。

(9)木の 葉○ 光って いる。

(10)土○ ふむ。

(11)人の 足○ ふむ。

(12)庭○ 散歩する。

(13)庭○ 歩く。

(14)音楽○ 聞く。

(15)音楽○ 聞こえる。

3. わくうめ (填方框)